

校長室の窓から

あすなろ

緊急事態宣言解除ですが・・・
学校は
緊急事態が続きます。

6月からの学校再開を持ち望む私たちですが、一気に以前のような学校生活に戻れるかどうか、正直なところ不安な面もあります。このまま、広島県や福山市で感染者0が続くことを願う毎日です。休校だった4月・5月の2カ月間をどのようにとらえ、どう取り戻していくか、普通は一年勝負で行うことを10カ月勝負でやりきるためには、何をどのように考え、工夫していくか、子どもたちの学びの質をどのように高めていくか、等々毎日のように先生方と協議しています。

私が今一番心配していることは、子どもたちの体力です。重いランドセルを背負って学校までを往復したり、学校で動き回り運動場を走り回っていたりただけでも、かなりの運動量になっていたはずですが、それが2カ月、もっというなら3カ月間なかったわけですから体力はかなり低下していると思います。おまけに6月からの高温多湿の気候の中でいくらエアコンがあるといっても子どもにとってはとても厳しい毎日になることが予測されます。暑さの中でのマスク着用も熱中症との関係で悩むところですが。

各家庭におかれましては、学校再開までの毎日を、とにかく「規則正しい生活」をさせてくださるようお願いいたします。コロナウィルス感染症も熱中症も基礎体力（免疫力）が重要ポイントになってきます。ぜひ決まった時刻に起き、朝食をしっかりと食べ、決まった時刻に就寝させるようにしてください。よろしくお祈りします。

休校中こんな話も聞こえてきました。

「今回の休校でいけんことばかりじゃあなくて、いいこともありました。今までちっともしなかった洗濯ものを取り込んで おまけに家族別にたたんでおいてくれるようになりました。」

お米をといでくれるようになった、茶わんを洗ってくれるようになった等々の声も聞きます。マスクをおばあちゃんといっしょに作ったという子もいました。今回の休校を様々な角度からとらえた時、負の部分ばかりでないことに気づかされます。各家庭におかれましては、子どもの成長や家族のつながりという面でこの2カ月を振り返ってみてはどうでしょうか。

とはいうものの・・・子どもはゲームばかりしていた。成長どころか！！という嘆きの声も聞きました。休校中におけるゲーム依存症については大きな社会問題になっていますね。全否定するのではなく、約束事をきちんと親子で話し合って決めたうえで使用させるようにしましょう。

青空が広がると思いきり外で・・・と思ってしまいます。平成のときにはあまり聞かれなかった「我慢」とか「辛抱」ということばが最近はおちこちでクローズアップされてきています。様々なことが中止になったりお店が閉っていたりなど、これまでの生活が大きく変わりました。大人の私でもかなりのストレスが溜まりこんでいる状態なので、子どもたちはそれ以上のことと思います。学校再開後の子どもたちのストレスケアについても思いをはせるこの頃です。

緊急事態宣言の解除によって少しずつ以前の生活がもどってきそうな気配ですが、緩むことなく感染防止対策は続けてしっかりと行ってまいりましょう。